

谷相新聞

発行
中央東農業振興センター
0887-53-3039

紙面

「またきいや谷相へ」を開催
先進地研修を開催
上東集落（いの町）と交流会を開催！
直販部会先進地研修を開催！

ほか

この新聞は、中央東農業振興センターが、谷相集落で行った活動を、地域の皆様に紹介するために作成したものです。

みんなで創る谷相地区

中央東農業振興センターでは、香美市、土佐香美農協と連携し、谷相地区をモデル集落として、集落営農活動への支援を行っています。

平成二十一年に「咲かそう・実らそう谷相の夢」をスローガンに谷相地区集落営農組合が設立され、「エコファーマー」「農作業受委託」「所得向上に向けたアジサイ栽培や直販活動」「青ネギ栽培」「交流」の取り組みを行っています。

「またきいや谷相へ」(交流会)を開催！

十一月七日に三谷地区公民館において「またきいや谷相へ（交流会）」を開催し、高知市や南国市から親子十五名の参加がありました。

あいにくの雨で予定していた芋ほりが中止となりましたが、おにぎりづくり、稲わらリースづくりを行い、お米のおいしさや谷相のよさを堪能していただきました。参加者からは、「のんびりできてよかった」「お米がおいしい」との意見がありました。また、「せっかくのイベントなので、もっとPRして多くの人に参加してもらったら」との意見があり、PR方法については、次年度の課題となりました。



参加者集合写真



稲わらリースづくり

山南営農組合(香川県)で研修！

十二月十二日に、山南営農組合(香川県三木町)において先進地研修を開催しました。山南営農組合では、「減農薬・有機肥料による高品質米の栽培」「農作業受委託・ライスセンターの運営」「産直市の開催」「農家レストランの経営(どんぐりころころ)」等に取り組んでいました。

参加者からは、「組織を運営して行くうえで同じような悩みがあることが分かった」「色々な問題を話し合いと知恵で乗り越えていてすばらしい」「山南営農組合が保有している農舎は、谷相集落で建設中の農舎とほぼ同じ面積で、機械の配置や運営方法等参考になった」等の声がありました。



研修風景



取り組み状況聞き取り

「水稻栽培研究会」「オペレーター部会」を開催！

◇十一月十八日◇

「水稻実証ほ調査」「食味値調査の結果報告」「エコファーマー版谷相水稻栽培暦の検討」を行いました。研究会員からは、「タンパク質が高いと米の味はどうなるのか」「有機質肥料や生物農薬による種子消毒については結果も良かったので次作も続けて取り組みたい」等の声がありました。

◇十一月二日◇

「谷相の米（ヒノヒカリ）」「天空米（本山町・ヒノヒカリ、にこまる）」「南国の米（コシヒカリ）」の食べ

比べ（食味比較）や「谷相米」の基準づくり等について検討を行いました。食べ比べの結果は、一位「谷相の米」、二位「天空米（ヒノヒカリ）」、三位「南国の米」、四位「天空米（にこまる）」となりました。「谷相米」の基準については、「食味スコア七十五点以上、整粒歩合七十%以上」とすることになりました。

◇十一月二日◇

「農作業受委託」「共同防除」等について検討を行いました。水稻の受託面積については、共同防除のべ四十八ヘクタール、収穫一・一ヘクタール、乾燥二百三十二袋となりました。また、共同防除実施場所を地図で把握し、「地域的集約の必要性」や「二回目以降の防除薬剤の選択」などの課題や次年にむけた対策の検討が行われました。

◇二月二十五日◇

「次年度の取り組み」「エコファーマーの取り組み」平成二十三年度農作業受委託計画について検討を行いました。農作業受委託面積の拡大等次年度にむけた対策の検討が行われました。



エコファーマーの取り組み検討



食味比較

「直販部会を開催！」

◇十一月十二日◇「四万十町おかみさん市先進地研修」

直販部会を中心に、「おかみさん市」で先進事例研修を行いました。谷相地区からは、十九名の参加があり、おかみさん市の取り組みを聞いた後、現地を回りました。

雪が舞うなかでの研修となりましたが、参加者からは、「谷相より厳しい条件で農業をしている。もっと頑張らんといかん」「仲間づくりの大切さがわかった」等の意見が聞かれました。

◆二月十九日・二月七日



「売上目標の設定」「栽培履歴の記帳・出荷表」「実証ほの今後の管理」「直販所『韭菜の里』への提案」等について検討を行いました。谷相カレンダー（出荷品目等）のとりまとめを行い、直販部会が老人ホーム等の出荷に対応できるよう「韭菜の里」に提案することになりました。

◆三月八・十日

谷相集落の「直販部会実証ほ場」において、ジャガイモの定植や落花生等のは種を行いました。参加者からは、「みんなで作業すると楽しい」「植え付けなどちょっとしたコツがわかってよかった」等の声がありました。四月には、カボチャや枝豆等のは種を行う予定です。



おかみさん市研修



ジャガイモ定植

「上東地区集落営農組合（いの町上東集落）」と交流会を開催！

三月十三日に谷相公会堂等において、「上東地区集落営農組合」との交流会を開催しました。上東は平成二十年度に「こうち型集落営農」に認定され、ニラ、葉わさび等所得向上の取り組みや水稻の農作業受委託に取り組んでいる集落です。参加者からは「高齢化が進んでいるので、集落を維持して行くには、みんなで知恵を出して取り組む必要がある」「今後も、同様の取り組みをし

ている谷相集落とは交流を深めたい」等の意見が出されました。



上東との交流会



谷相農舎での説明

交流専門委員会の開催！

八月三十一日、九月十三日に、交流会の内容（おにぎりづくり、稲わらリースづくり等）や参加費、当日の役割分担等を検討しました。また、「谷相の良さや地元のおいしいお米のPR」を目的に十月三十日に、「プレ交流会」を開催し、交流会当日のスケジュールで練習や各人の担当の最終確認、稲わらリースの土台づくり等を行いました。

交流会開催後、十一月十六日には、「交流会反省会」を行い、アンケートの結果、「大変良い」「良い」と答えた割合が100%と好評であったことが報告されました。課題として、「雨天用の資料の準備ができておらず、参加者には日程変更した内容がわかりにくかった」「定員の20名に達するように、PR方法について検討が必要である」など出され対応策を検討しました。



プレ交流会



交流会用芋掘り準備

組合や部会活動に参加しませんか！

地域の皆さんの参加がないと「始まん」会ですので、今まで参加された方も、途中からの参加はしにくいと思っています。らっしゃる方も、皆様お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。



『集落営農とは』

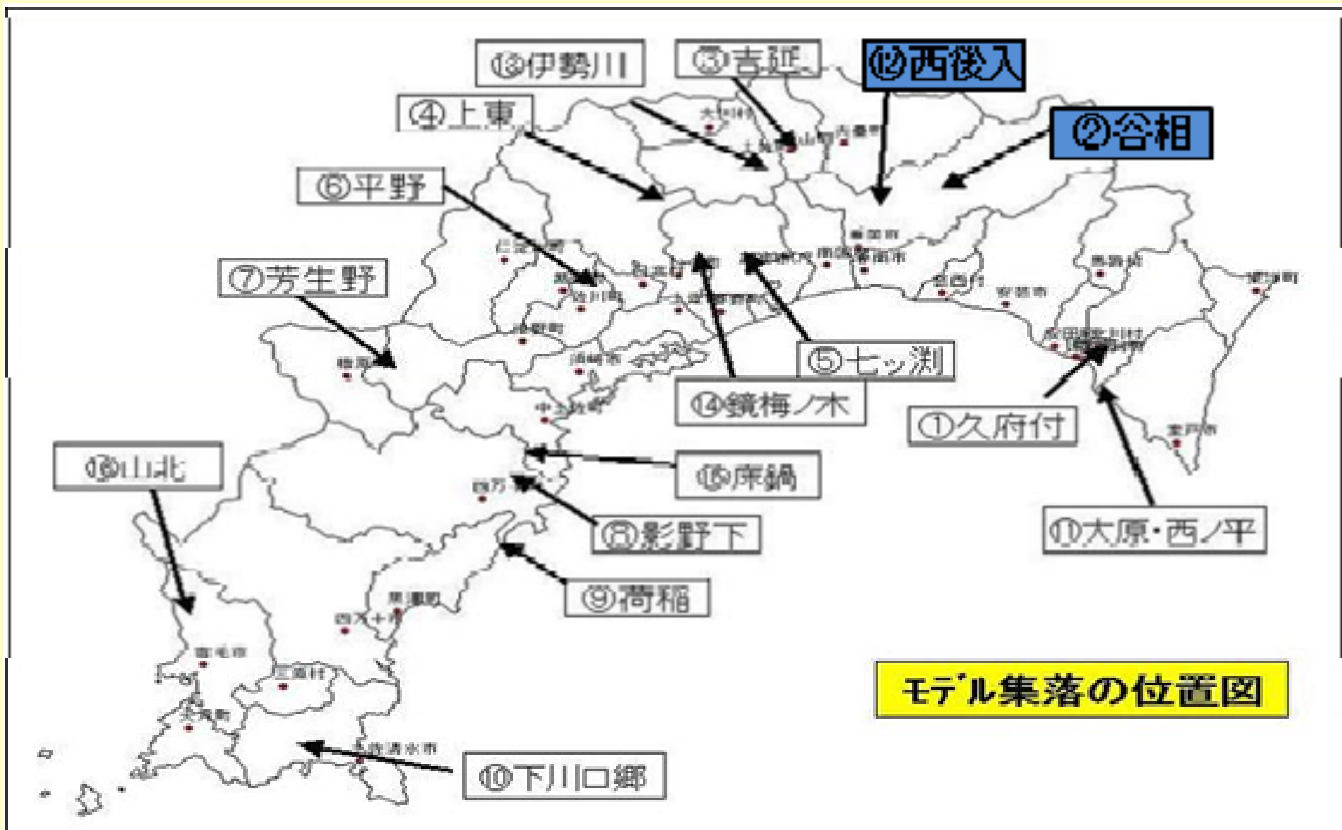
ひとつの農家では解決できない地域の農業のいろいろな問題を、集落のみんなと知恵と力を出し合って解決し、集落づくりにつなげていくことです。

『谷相地区集落営農組合について』

谷相地区集落営農組合は、「咲かそう・実らそう谷相の夢」をスローガンに集落の維持発展をめざして平成21年3月に設立しました。

オペレーター部会、水稻栽培研究会、アジサイ栽培研究会、直販部会、青ネギもうかる会、交流専門委員会の6つの作業部会ができ、様々な活動を行っています。

こうち型集落営農モデル集落一覧表（16集落）



発行：中央東農業振興センター

農業改良普及課

連絡先：香美市土佐山田町加茂 777

TEL：0887-53-3039

FAX：0887-53-5140